



佐野市立犬伏東小学校

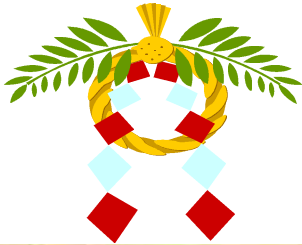
校長室だより No.17

鯨山 1

R2. 1. 10 令和2年1月号①

〒327-0817 佐野市伊勢山町1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>



謹賀新年



2020(令和2)年、犬伏東小学校は無事に新年を迎えました。昨年は未曾有の水害にも見舞われましたが、穏やかな年となるよう今年も保護者の皆様やご家族、地域の皆様と共に子どもたちの健やかな成長を願い、豊かな心の育成、学力向上及び体力向上に取り組み、教職員一同努力してまいります。皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今年の子年です。「子」は十二支の最初です。方角では北の方角を指します。また、「子」は旧暦11月の異称であり、本来「子」は繁殖する・うむという意味をもつ「孳」(じ:「しげる、子どもをたくさん産む」の意味)で、新しい生命が種子の中に萌し始める状態を表しているといわれています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているのです。十二支の一番目にそのような意味をもつ「子」が来るのだそうです。



全校集会では「十二支が始まった話」の本を紹介し、どうして子(ねずみ)が最初になったのか、図書室の本を読んでみるとよいことを伝えました。読書習慣は何と言っても学力向上の基本ですので、干支の話から読書へと関心を広げる一助となればと思います。また、今年が東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあり、それぞれの旗の意味についても取り上げました。日本で夏季オリンピック・パラリンピックが開催されるのは1964年以来2回目となります。オリンピック・パラリンピックの周期を考えると子どもたちにとっても自国での開催は最初で最後かもしれません。すばらしい平和の祭典になることを願っています。

新年のちかい -一人一人の目標-

12月26日(木)の冬休み前全校集会では、「新年のちかい」を立てる大切さについて話をしましたが、新年全校集会では、その実行について一人一人が頑張っていてほしいことについて話しました。そして、各学年の代表児童に自分で立てた「新年のちかい」を発表してもらいました。冬休み明けですので十分な発表練習があったわけではありませんが、どの子どもも堂々と発表することができました。なお、提出された「新年のちかい」は、各学級で掲示する予定です。ご家庭でもお子さんのちかいが実現できるようご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



郷土に尽くした田中正造 -郷土博物館学習-

台風による水害の影響のため延期となっていた郷土博物館による4年「渡良瀬川と田中正造」の学習を12月20日(金)に学校で行いました。田中正造のお墓は5か所あると言われており、それぞれの墓の云われについて映像で紹介していただきました。また、正造は小石を集めることが趣味でしたが、その中から今でも採集できる桜石を見せていただいたりしました。郷土に尽くし今も語り継がれる田中正造の偉業を称えるため、本葬が春日岡惣宗寺で執り行われ、約3万人の人々が正造翁の冥福を祈った10月12日を佐野市では「田中正造の日」に制定しています。



不審者の対応を想定した避難訓練

避難訓練はこれまでに2回(地震と火災)行い2回目は引渡し訓練も取り入れました。12月25日(水)は不審者に対応する3回目の避難訓練です。不測の事態に備え佐野警察署の警察スクールサポーター、犬伏駐在所長の指導の下に行いました。スクールサポーターの方からは①腕をつかまれた時にふりほどく「クルリンパ」、②ランドセルをつかまれた時にいち早く逃げる「スルーダッシュ」の方法を教わりました。いずれもダッシュする不審者からすぐに離れることが大切なので日頃から体力を高めておくことも必要だとのこと。この訓練が役立つことがないことを祈りつつ万一の備えは怠らないようにしていきたいと思ひます。



ビブリオバトルのデモンストレーション



進んで読書に親しんでもらうめの手立ての一つとしてビブリオバトルがあります。ビブリオバトルの日本語訳は知的書評合戦で発表者による本の紹介をもとにどの本が一番読みたくなるかを競い合うものです。読書活動の広がりとともにプレゼンテーション能力の育成も期待されます。この日は図書委員によるビブリオバトルのデモンストレーションを行いました。多くの児童が見つめる中、とても参考になる内容でした。本番にノミネートした子どもたちのビブリオバトルは年明け。参加者の健闘を祈ります。

後期の業間なわとびが始まりました

前期の業間活動は「東っ子マラソン」でしたが、校内持久走大会が終わり、しばらく業間活動は休止していました。後期は「なわとび活動」です。1月からなわとび活動が始まりました。なわとびは心肺機能を高めるとともに上半身と下半身を鍛え、多くのカロリーを短時間で燃やすことができる大変優れた運動です。個人のめあてを立て練習を積み重ねることで忍耐力も付きます。2月には大なわとび大会もあります。苦しいこともありますが一人一人頑張っしてほしいと思ひます。

